

若手職員が考える 新しい複合文化施設

- 1 趣旨
- 2 概要
- 3 ホールを活用した取り組みについて
 - ・ホールを活用した事業を考える
 - ・ホールを活用した取り組み1
 - ・ホールを活用した取り組み2
 - ・グループワークででたアイデア
- 4 ホール以外の施設機能
- 5 まちづくりへの波及効果

【若手検討チーム】

複合文化施設整備基本計画策定を進めるにあたり、若手検討チームを設置。複合文化施設の在り方について、所属等にとらわれず自由な発想に基づく議論を行い、若手独自の視点に立った提案をしていく。

参加職員

	職名	氏名	所属	
1	主幹	大和田 裕太	総務部	総務課
2	主幹	磯山 佳佑	総務部	総務課
3	主幹	関根 祥平	総務部	契約検査課
4	主任保健師	清水 明子	保健福祉部	高齢福祉課 介護保険室
5	主幹	小菅 雅翔	産業戦略部	農政課 里山保全室
6	主幹	本田 明日美	議会事務局	庶務議事課
7	主任	中島 裕子	教育委員会事務局	教育総務課 学校再編推進室
8	主幹	酒井 大佑	教育委員会事務局	生涯学習課

開催概要

全4回のワークショップを通して「石岡市複合文化施設整備基本構想」で定めている4つの基本方針を踏まえながら、「ホールを活用した事業」・「ホール以外の施設機能」について意見を取りまとめる。また、それらがもたらす効果と複合文化施設が整備されることによるまちづくりへの波及効果を検討。

【石岡市複合文化施設整備基本構想】

<基本理念>

新たな活力で 輝く未来へ「文化」「ひと」「地域」の交流拠点

基本理念を実現するための4つの基本方針

<基本方針>

- 1 身近な文化芸術の拠点づくり
- 2 あらゆる「ひと」に開かれた空間と交流の拠点づくり
- 3 賑わいを生み出す拠点づくり(周辺地域や各分野との連携)
- 4 時代のニーズに柔軟に対応できる空間づくり



・第1回

日時:令和5年8月8日(火) 午後3時00分～午後5時00分

テーマ:「ホール以外の施設機能について」

ホール機能とどのような機能をあわせて整備するか

・第2回

日時:令和5年9月15日(金) 午後3時30分～午後5時00分

テーマ:「ホールを活用した事業について」

文化、芸術を推進するためにはどのようなホールや施設機能が必要か検討する

・第3回

日時:令和5年10月13日(金) 午後3時30分～午後5時00分

テーマ:第3回と同内容 ※欠席者にはアンケート実施

・第4回

日時:令和5年11月29日(水) 午後3時30分～午後5時00分

テーマ:まとめ

これまで検討した「ホール以外の施設機能」・「ホールを活用した事業」がどのような効果をもたらすか。
また、複合文化施設が整備されることにより、まちづくりへどのような波及効果があるのかを考える。

ホール活用した取り組みについて

- ・ホールを活用した事業を考える
- ・ホールを活用した取り組み①
- ・ホールを活用した取り組み②
- ・グループワークで出たアイデア

ホールを活用した取り組みについて ～ホールを活用した事業を考える～

以下のような考えのもと、ホールを活用した事業について2つを提案

住民による文化活動・文化創造を盛り上げるためには？

- ・その場所を中心に活動している団体や著名人等、文化活動を盛り上げるような下地をつくり、牽引する存在が必要。
- ・石岡には県立高校3校あり、若者が集まる！（それが石岡らしさでもある）



高校生を中心に文化芸術活動を盛り上げる！

- ・高校生が新しいことをやっている→まちのイメージアップがはかれる！
- ・石岡の魅力を広く発信できる！
- ・高校生を中心とした若者文化（アニメ、マンガ、ゲームなどサブカルチャー）でホールを活性する！

多くの人に関わることで、交流の機会を作る！

- ・有名人が来る大イベントでなく、市民が作ってみんなが集まる⇒ホールに新たな付加価値を見出す。

高校生の文化祭に大人を巻き込む！

現状

■旧市民会館の催しでは、高校生がホールを活用する機会が少なかった。

■「秋の文化祭」のような催しに高校生や20代の若い世代の参加機会が少ない。



提案

■高校生にホールを活用してもらうために高校生の文化祭に大人を巻き込む！

⇒文化祭と銘打っている人々が一つのことをやる！

⇒多くの人に関わることで、多世代の交流機会を増やす

■高校生が参画する仕組みを市がメインでできると良い

■練習～本番～その後まで365日複合文化施設と関わるような通年イベント化

持続可能な地域活動を目指す！

ホールの活用方法

■吹奏楽だけでなく、即興劇などホールで常に何かやっている

■ホールに山車や獅子が登場

■ホールを使って作品を制作する

■小さな子どもも楽しめるようなしかけ
(例:お化け屋敷、手作りジェットコースター等)

■ホール以外では、運動部の催しもの、模擬店の出店など

実行するための施設

■外とつながるような明るく開放的なホール

■フレキシブルに使えるホール

■山車が入れる入口、床の荷重性、照明などを想定

■床が汚れるような体験や運動に備えた床

■飲食可能なホール

→映画館のような気軽さ

→飲酒も可能な施設運営

(地酒飲みながらのイベントもできる！)

→地元の店舗に協力をいただき、お店も高校生も双方にメリットがある機会を創出。

(高校生は本格的な販売が体験できるなど)

期待される効果

・市民のニーズにフレキシブルに対応できる出会い・交流

・多くの人に関わることで、交流の機会を作る

・大人側・高校生側双方にメリットのある交流は継続性が高まる

・複合文化施設での活動に関わることで、愛着を持ってもらう。
(例えば、高校を卒業したら終わりではなく、卒業後も関わりが続くようなきっかけに。)

・「石岡の高校に行きたい！」と石岡の高校入学に関心を持つ人が増える

・9月のいしおかのお祭りだけじゃない！新しいおまつりの創出



eスポーツで石岡を盛り上げる！

現状

■石岡市出身の高校生eスポーツで活躍！

【菊地飛竜さん ステージゼロフォートナイト部門で準優勝】

日本最大高校eスポーツの祭典

Coca-Cola STAGE:0
eSPORTS High-School
Championship2023



■茨城県ではeスポーツ事業の取り組みに積極的！<いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト>

皆で盛り上げる一体感、機運を作りやすい！

提案

■若者文化<eスポーツ>で盛り上げる！

⇒石岡がeスポーツ大会の開催地候補になることで、宣伝効果を生み出す

■eスポーツは性別年齢関係なく楽しめることから、他の事業との連携

ホールの活用方法

■eスポーツ大会の開催・観戦

→大会ツアー等も開催して市内観光に繋げる

■eスポーツを活用した高齢者や障がい者の支援事業の開催

実行するための施設

■音響や照明、映像配信などeスポーツに最適な設備

■イベントに応じて収納ができるような、可動式の座席

■次世代を意識したホール

→最新設備を使ってeスポーツ以外の催しでも特別演出(例えば…キラキラしたピアノコンサート・楽器の演奏会やかっこいいライブ演出などができる！)
→近隣のホールにはない演出ができる特徴的なホールになる！

期待される効果

・市のホール催しに関心が無かった人が足を運ぶきっかけになる

・eスポーツは年齢や障害の有無等関係なく、楽しめることから、高齢者や障がい者の支援事業と連携
→社会参加の機会の創出、高齢者の介護予防効果

・子どもが参加することで、両親や祖父母も参加
→多世代の利用が見込める

・石岡に興味を持つ人が増える
→市内での就職や定住につなげる

・市外から人がたくさん来る
(外国からの観光も!!)



ホールを活用した取り組みについて ～上記以外のアイデア～





目的	内容
映画・観劇鑑賞	<ul style="list-style-type: none">・「石岡タロー」物語をいろんな人に知ってもらう・劇団四季地方講演
体験	<ul style="list-style-type: none">・小道具のヒミツ・バックステージツアー・ホールでプロから演劇やピアノ指導を受ける・バックヤードの見学・楽器お試し会 ピアノ 吹奏楽、バンドの勧誘・ピアノ指弾会
音楽や演劇の発表・コンクール	<ul style="list-style-type: none">・お祭りお囃子発表会・高校生バンドライブ・吹奏楽コンクール、市内合同演奏会、地域学校の合唱コンクール・ライブ・演劇部等発表(園・地域規模)発表会、家族以外も招待して見せる・カラオケ大会、のど自慢大会
その他	<ul style="list-style-type: none">・クイズ大会(石岡にまつわるクイズ等、屋外も使用)・砂絵・影絵(子ども・親子)※スクリーンを使って・ステージを使って巨大なアート作り・Youtube等の公開収録








ホール以外の施設機能



ホール以外の施設機能

エリア	目的	実現するための施設	効果	関連する基本方針
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・VRで市内体験 ・VRでパラグライダー ・自分にあった文化体験を探したり試す場所 ・定期的に変わる石岡の〇〇展(お酒、お菓子、祭り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・獅子頭、博物館、ギャラリー、山車会館 ・最新の技術で視覚、聴覚、嗅覚で体験させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示があることで、手軽に石岡をPRできる ・最新技術 →若者を惹きつける 	
子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子供と遊びたい(室内、室外) ・子育て支援してくれる場所 ・子供を預けてくれるところ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産の木のおもちゃ ・公園、屋上にフットサル場 ・児童館的な保育スペース ・芝生エリア、安全な水遊び場 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼い頃からホールに慣れ親しむことで、成長してから利用のハードルが高くなる ・石岡への転入者、定住者を期待 	
学習	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強スペース、知的活動、交流スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習スペース(無料、有料スペース) ・会議室、待合室、公文書館、図書館 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の勉強スペース、社会人のコワーキングスペースとして利用者が見込める ・電車の待ち時間に使える 	
テナント	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとのお土産購入する場所 ・地元の美味しく食べ物、地酒を楽しむ ・ファーストフードを購入できる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・フードコート、レストラン、カフェ、ファーストフード ・地元の食材を活かした飲食 ・スーパーマーケット ・お土産屋、道の駅のような要素を加えた施設 ↑「石岡のお土産を買う場はあるか？」と良く聞かれる。 需要あり! 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元食材の販売、地元食材を使った料理が提供により市内外から人が集まる ・手軽に飲食→時間つぶしの人利用 ・フリースペースにすることで、テナント側の負担も軽減できる ・お土産を買うために寄ってもらえる 	

ホール以外の施設機能

エリア	目的	実現するための施設	効果	関連する基本方針
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ライブ鑑賞(音楽、お笑い等) ・フェス(楽器、歌の練習や発表) ・個人的に音楽を練習できるスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタジオ、防音施設、野外ライブ ・芝生エリア 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人やグループで音楽、ダンス等を行う人が集まる(若年層) →それを観に来る人(来館者増)、新しく音楽やダンスを始めるきっかけ 	 
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影スポット、写真が映える場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・街並みに溶け込む外観 ・看板建築のミニチュア版を施設内に建てる ・看板建築風な建物 	<ul style="list-style-type: none"> ・石岡のPR映えスポット ・コスプレイヤー、レトロ好きが集まる 	  
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館 ・災害時に避難所 ・期日前投票所 ・施設利用者や近隣のお店を利用したら駐車場無料 ・コスプレ大会、ドッグラン 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな部屋 ・フレキシブルな部屋 ・広い駐車場 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が入ることで、常に一定数の利用者が見込める ・災害時一時的に市民の安全の確保する ・投票所を増やすことで投票率の向上 ・近隣のお店を利用することで、地域活性化を促進 	

まちづくりへの波及効果



1. 持続可能な地域活動の創出

■年齢や障害の有無関係無く楽しめる空間

■既存のイベントに加え、より多くの若い世代が参加する仕組み、若い世代を惹きつける機能

→文化芸術に関するイベント参加者の裾野を広げる

■小さな子どもも楽しめる空間を整備することで、両親や祖父母の利用も促進する

多世代が交流する拠点

→石岡の文化の共有・継承

→双方にメリットのある交流で、事業の継続性の向上

持続可能な地域活動の
創出

2. 賑わいの創出

- 市民のニーズにフレキシブルに対応
 - 市民の自由な発想で使える
 - 1回の利用で完結ではなく、継続して利用してもらう
 - 市民の積極的な自主活動の場を目指す
 - 市民満足度の向上

■学習スペースやキッズスペース等、目的に応じて気軽に立ち寄れる場所の充実

■魅力的な事業企画、情報発信

市民がつくる、皆が集まる場所

- ・常に人が動き、活動が外に見える
- ・市内の飲食店、企業、農家も参画できる仕組み

賑わいの創出